

40余年にわたり選ばれてきた理由

お子さまの成長に合わせて無理なく英語の力を引き出します



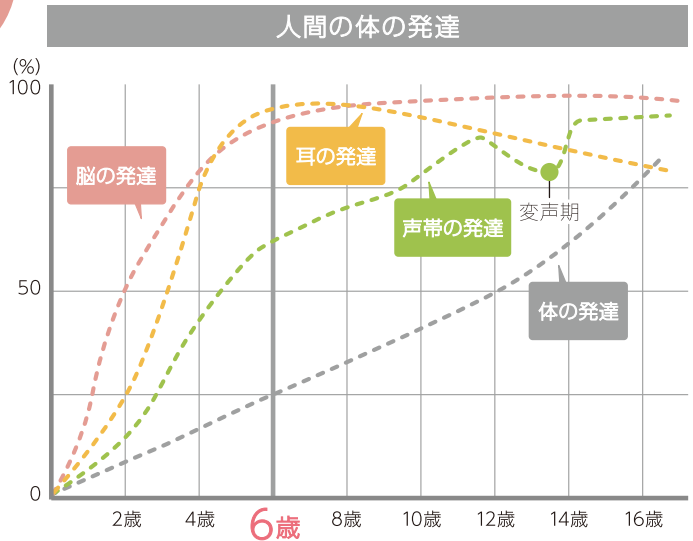
グローバル化が進む現代社会では、もはや英語は必須能力となりつつあります。2020年度からは小学校においても「3年生から必修化」「5年生から教科化」が完全実施される見通しです。

私たちは早期英語教育の重要性をいち早く認識し、歌やゲーム、遊びの中で英語を身につける、独自のメソッドを確立。子どもたちの「楽しい」を通して、英語が自然と好きになるカリキュラムや教材の研究を続けてまいりました。教室にあふれる子どもたちの元気な笑顔そのものが、私たちの自信です。

早期教育

幼少期の レッスン開始が 語学力をのばすのに 適しているというのはなぜ？

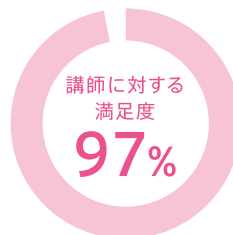
人間は生まれてから3歳までに、ことばを習得するために必要な「耳」と「脳」が急速に成長していきます。特に耳の発達は6歳ごろにピークを迎え、その後はゆるやかに下降線をたどるといわれています。大人が英会話を学ぶ場合、文章や単語を頭の中でいったん日本語に置き換えて考えてしまいがち。しかし、成長過程にある子どもたちは英語をそのまま音として聞き、吸収していくことができます。最適な時期に最適な環境を与えることで、その子の持っている能力は大きく育ちます。英語をきちんと身につけるためには、乳・幼児期から、英語に接する機会を持つことがとても重要なのです。



優れた 講師

お子さまそれぞれの 伸びる時期を見守る

講師には、母親のように愛情を持って子どもたちの成長を見守り指導する豊かな人間力があります。英語力はもちろんのこと、「児童心理」「教育理論」「英語指導法」など、さまざまな知識を得た英語教育のプロフェッショナルです。お子さまの「伝えたい」という気持ちを大切に、やる気を引き出し、楽しく、生き生きと英語力を育みます。楽しさを感じさせ、感動を与えることで達成感へと導き、さらに自発的に「学びたい」という欲求につなげていきます。また、お子さまそれぞれの伸びる時期を見守り、学ぶためのよりよい環境をつくりまします。



※2015年度実施調査。
生徒さん向けアンケート(8,619名回答)。

「覚える」のではなく「身につける」 母国語教育法

優れた
方法

子どもが言語を覚えるまでには何千回・何万回も同じことばや同じような言いまわしを聞き、発音します。くり返し聞いて聞きとる能力を育てること、ここから言語の学習は始まります。レッスンでは、会話やゲームの中でくり返し語りかけることで自然に英会話を定着させる母国語教育法を採用。母親がくり返し日本語を語るのと同じように、十分に吸収することで能力となり、母国語のように定着していきます。そして身についた能力は、お子さまの大きな成長を促します。

ゲームや遊びを通してくり返しことばを発すること、英語で考え、英語で取り組んでいくことで、英語を使う環境に無理なくとけこんでいくことでしょう。



Phonics (フォニックス) を取り入れたレッスン

アルファベットひとつひとつの音の出し方やスペリングのルールを学ぶことで、学習前の知らない単語の読み書きができるようになるなど、学習効率を格段に上げることができます。英語圏の子どもたちと同じように「Phonics」を導入したレッスンを行っています。

a b c d ...



優れた
教材

くり返して学ぶ！ 子どもの意欲を存分に引き出す教材

家庭学習の強い味方、タッチするといつでも「生きた」英語を聞くことができる音声ペン。録音・再生機能も搭載！

教材に絶対の自信を持っています。英語の基本ルールや文法を楽しみながら、きちんと身につけるために研究・開発された教材は、子どもの意欲を存分に引き出し、成長に合わせて使い続けることができます。くり返し学習することで、英語で「聞く」「話す」「読む」「書く」ことにおいて、実りある成果を約束します。

